

平成22年度

私たちのまちの主な事業

快適で安全に

住めるまちづくり

住みやすいまちを演出する
都市基盤・公共施設の
充実を図ります。

【道路網の整備】

◆より安全な道路への改良

日常生活・産業活動を支える快適で安全な道路網を整備するため、国・県道（国道305号、県道別所朝日線ほか）の改良整備の促進や、町道小樟大樟線の道路災害防除工事等を行います。

【水道の整備】

◆簡易水道統合整備工事の実施

荻野地区の簡易水道を上水道に統合するため、ポンプ場の整備、配水管の布設替を行います。

【下水道等の整備】

◆浄化センター施設の改修

朝日浄化センター施設の老朽化に伴い、機械・電気設備の更新を行います。

【宅地・住宅の整備】

◆上野田・ひまわりの里分譲地定住促進事業

若年夫婦世帯やU・Iターンの定住を促進するため、土地購入者に分譲地購入支援、早期新築支援、子育て支援を行います。



◆町営住宅長寿命化計画の策定

町営住宅の効率的な更新により、施設の長寿命化を図り生涯にかかるコストの縮減につなげるため、町営住宅の長寿命化計画を策定します。

◆町営住宅地上デジタル放送対応工事の実施

アナログテレビ放送終了に伴い、町営住宅にデジタル放送対応工事を行います。

【公共交通】

◆コミュニティバス運行と利用促進

コミュニティバスをより便利に利用してもらえるよう回数乗車券や小・中・高校生を対象とした夏季休業期間限定フリーパス券を販売します。また、運転免許を自主返納された満65歳以上の方に申請により、免許返納日から10年間の無



料定期乗車券を交付します。

◆路線バスの利用促進

町民の「足」となる路線バスの維持・充実を図るため、路線バスを利用する高齢者や高校生等に対する運賃の補助や区などが実施するバス待合所整備への補助を行います。

◆デジタル防災無線設備の整備

22年度と23年度の2か年で、朝日地区、宮崎地区、織田地区にデジタル防災行政無線設備を設置し、越前地区の既存設備とシステム統合することにより、全町をカバーできるデジタル防災行政無線を整備し、災害に強い基盤づくりを進めます。

◆ハザードマップの作成

災害時に迅速に避難できるように、また、防災意識の高揚を図るため、土砂災害ハザードマップや地震防災マップを作成します。

健康で安心して暮らせるまちづくり

安心して暮らし続けられる

保健・医療と福祉の
充実を図ります。

【保健事業の推進】

◆がん検診を実施

町内に住所があり、職場などでがん検診を受診する機会のない人を対象としたがん検診や節目無料検診、個別検診を実施します。

◆特定健診・特定保健指導を実施

40歳～74歳の国民健康保険加入者を対象にメタボリックシンドロームに着目した健診と保健指導を行います。

【子育て・少子化対策の充実】

◆妊婦・乳児健診費用の助成

妊婦・出産の経済的負担を軽減するため、妊婦健診・乳児健診に対して助成を行います。



◆病児デイケア事業

傷病の回復期または治療中で集団保育が困難な児童を町立織田病院で一時的に預かることにより、保護者の子育てと仕事の両立を支援します。

◆すくすく保育事業

子育て家庭の経済的負担を軽減するため、第3子以降の3歳未満児の保育料を無料にします。また、3人同時に保育所に入所した場合、第3子以降の保育料を減免します。

◆子育て支援センター事業

子育て家庭の相談指導及び子育てサークルなどへの支援や、地域の保育ニーズへの対応、各保育所（園）間の連携を図ります。

◆乳幼児医療費無料化対策事業

小学校就学前までの乳幼児にかかる医療費の一部を助成し、子育て家庭の経済的な支援を行います。

◆子ども手当支給事業

次世代の社会を担う子どもたちの成長を社会全体で応援する観点から、中学校修了前までの児童を対象に1人月額1万3千円を支給します。



【障害者福祉の充実】

◆障害者福祉サービスの充実

障害者のさまざまな相談に応じた必要な情報の提供や助言を行う相談支援事業、意思の伝達に支障のある障害者に対し手話通訳者を派遣するコミュニケーション支援事業、自立した日常生活

【健康づくりの推進】

◆高齢者の健康づくりを支援

心身共に元気な高齢者の増加を目指して、介護予防（認知症）サポーターを養成し、地区の集落センターなどで定期的に「つるかめ体操教室」を行います。

◆医療機器の充実

より精密な画像を撮影し正確な診断を行うため、織田病院のコンピュータ断層撮影装置（CTスキャン）の入替えを行います。また、院内でのウイルス感染を防ぐための空間清浄機の設置や老朽化した電話交換設備の入替えなどを行います。



人が輝き交流で

満ちあふれるまちづくり

町民主体のまちづくりを推進し、次世代を担う人材を育成します。



【学校教育環境の充実】
◆小・中学校校内LANの整備
……………7,064万円
情報化社会に対応できる情報活用能力を早期に育むため、平成21年度から3か年で町内全ての小・中学校に校内LANの整備を行います。

◆非常勤講師および生活支援員の配置
……………3,198万円
非常勤講師を配置し、個に応じた授業の展開を図ります。また、障害を抱える児童・生徒に対し生活支援員などを配置し、安全な学校生活を送れるよう配慮します。

◆教育相談員の配置
……………511万円
各地区に教育相談員を配置し、悩みを抱える児童・生徒や保護者の相談活動及び適応指導教室を行います。

◆生涯スポーツの振興
……………755万円
8月に「第32回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会」、11月に「第11回全日本中学生都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会」を開催します。

◆人工芝ホッケー場スタンドの整備
……………2億4,035万円
ホッケー競技環境の充実を図るため、選手などの待機スペースを設けたスタンド（観客席）を整備します。

◆「えちぜんスポーツクラブ」活動の支援
……………50万円
いつでも誰でも気軽にスポーツを楽しめる場として、総合型地域スポーツクラブ「えちぜんスポーツクラブ」の活動を支援します。また、クラブとの共催による季節の短期イベント（カヌー・水泳・スキー教室）も行います。

◆「えちぜんスポーツクラブ」活動の支援
……………50万円
県内の予選を勝ち抜き、全国大会などへ出場する選手に対し、その参加にかかる費用を支援します。

◆「えちぜんスポーツクラブ」活動の支援
……………50万円
県内の予選を勝ち抜き、全国大会などへ出場する選手に対し、その参加にかかる費用を支援します。

◆「えちぜんスポーツクラブ」活動の支援
……………50万円
県内の予選を勝ち抜き、全国大会などへ出場する選手に対し、その参加にかかる費用を支援します。



◆「えちぜんスポーツクラブ」活動の支援
……………50万円
県内の予選を勝ち抜き、全国大会などへ出場する選手に対し、その参加にかかる費用を支援します。

◆スポーツ大会の開催支援
……………125万円
町内の種目別協会が行うスポーツ大会の開催を支援し、スポーツの普及・振興を図ります。

◆全国大会出場選手への支援
……………50万円
県内の予選を勝ち抜き、全国大会などへ出場する選手に対し、その参加にかかる費用を支援します。

◆「えちぜんスポーツクラブ」活動の支援
……………50万円
県内の予選を勝ち抜き、全国大会などへ出場する選手に対し、その参加にかかる費用を支援します。

◆「えちぜんスポーツクラブ」活動の支援
……………50万円
県内の予選を勝ち抜き、全国大会などへ出場する選手に対し、その参加にかかる費用を支援します。

◆「えちぜんスポーツクラブ」活動の支援
……………50万円
県内の予選を勝ち抜き、全国大会などへ出場する選手に対し、その参加にかかる費用を支援します。

◆「えちぜんスポーツクラブ」活動の支援
……………50万円
県内の予選を勝ち抜き、全国大会などへ出場する選手に対し、その参加にかかる費用を支援します。



【男女共同参画社会の推進】
◆男女共同参画社会の推進
……………668万円
越前町男女共同参画推進条例のもとに、行政・町民および事業者が一九となって、次代を担う子どもたちが夢と希望を持って生き生きと暮らせるまちづくりに取り組みます。
まちづくり推進員や男女共同参画ネットワークと連携し、地区、団体および小中学校が実施する気づき事業を支援し、男女共同参画のつどいを実施します。

◆国際交流の推進
……………4億3,427万円
地域住民が気軽に集い活動できる場を提供するとともに、行政サービスと地域コミュニティ活動の拠点施設として、宮崎・越前・織田コミュニティセンターの整備を進めます。

◆国際社会に対応できる人材育成
……………1,630万円
国際交流協会を中心に、オーストラリアやアメリカ、タイとの間で青少年

元気で活力

みなぎるまちづくり

豊かな自然や伝統産業を活かし、地域資源と共生する産業を育成します。

【農業の振興】

◆越前水仙の生産振興
……………1億8,975万円
越前水仙の生産拡大を目指す。越前地区における農道の整備や生産圃場の再整備、球根の改植工事を行うとともに、栽培管理機械の整備や出荷経費に対する支援を行います。



◆中山間地の生産活動支援
……………3,427万円
農業生産の条件が不利な地域における農地や農業用施設の保全管理、担い手の育成など、集落での取り組みに対する支援（中山間地

域等直接支払制度）を行います。

【水産業の振興】

◆漁港の整備
……………2億2,943万円
米の浦漁港の漁業環境を改善し、漁家経営の安定と安全な生活環境の確保を図るため防波堤工事や漁港用地の造成などを行います。



◆漁場の水域環境の保全
……………3,920万円
底曳網漁場の環境を保全するため、海底を耕し、微生物を増殖させ、漁場の生産力の回復を図ります。



個性豊かで誇りのもてるまちづくり

豊かな資産を活かして越前ブランドを構築し、魅力的で誇れるまちを創造します。

【観光産業の活性化】

◆文化スポーツ合宿の誘致
……………305万円
町内の文化・スポーツ施設を有効活用し、交流人口の増加と地域の活性化を図るため、県内外学生の合宿を誘致・支援します。

◆観光周遊バスの運行

……………266万円
冬の越前海岸に訪れる観光客の町内観光施設への誘導と観光客の移動手段を確保するため観光周遊バスを運行します。

◆越前岬水仙ランドの再整備（実施設計）

……………838万円
町花である越前水仙の持つ魅力を十分に引き出し、誰もが楽しめる魅力ある施設として再生するため、越前岬水仙ランドの施設全体を見直します。

【自然環境の保全】

◆EM（有用微生物群）の利用方法を普及啓発
……………100万円
町内全域でEM（有用微生物群）菌などを気軽に利用できるように「海土里の環境ネットワーク」と連携しながら、町内の小学校や各地区で説明会を開催し、米のとぎ汁を活用した「EM活性液」や「ぼかしづくり」の普及啓発活動を行います。



◆悉皆調査の実施
……………100万円
町内の文化財の分布調査をもとに、重要な遺跡について発掘調査を実施し町の歴史・文化の解明に努めます。

【文化財の保護・継承】

◆企画展覧会の開催
……………180万円
越前一ノ宮・氣比神社と二ノ宮・釵神社における、神仏習合や経典埋納を中心とした民俗信仰に焦点をあて、越前における神仏交渉史の特質について探ります。

◆越前学悠久塾の開催

……………86万円
町内に所在する文化財の紹介をはじめ、町が行う文化財調査や最新の研究成果を学ぶことができる町民対象の地域史講座を開催します。